

「鴨川の自然環境と医療の充実を活かしたプラチナタウンの実現」 ～良質な日常を過ごし、健康で元気に活躍できる多世代交流型の地域づくり～

目的

東京圏を始めとする地域の高齢者が、自らの希望に応じて鴨川市に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような環境づくりを進めること。また、誰もが快適で過ごしやすい住環境と新たな社会システムを創出するとともに、健康福祉産業の振興を図り、ひいては雇用の創出と若年者の流入、地域経済の振興にも資するため、「高いQOL（※）を実現する社会」、すなわちプラチナ・コミュニティの構築を目指す。（※注：Quality of life（生活の質））

- 対象区域：鴨川市全域を対象
- 計画期間等：平成33年度まで

基本コンセプト

- 緑豊かで人々の営みが継続している里山と、宿泊施設をはじめとした観光資源が集積し、都心から程近い別荘地として、豊かな眺望とマリンスポーツの場でもある海辺は、鴨川市が他に誇るべき貴重な地域資源。
- こうした地域にあって、官民の医療機関、健康づくり等の人材育成機関が立地し、高度医療から健康づくりまでを担うことができる地域は貴重な存在。
- こうした地域資源を存分に活用し、田舎暮らしを志向する方、鴨川に新たな活躍の場を求め方、ゆとりある暮らしを求め方などに暮らしと活躍の場を提供し、分野や主体間の連携を図り、地域の活性化、移住者が暮らしやすいまちづくり、地域の方々が生きがいを持って、いつまでも安心して快適に暮らすことができる地域づくりを目指す。

「鴨川の自然環境と医療の充実を活かしたプラチナタウンの実現」 ～高齢者が良質な日常を過ごし、健康で元気に活躍できる多世代交流型の地域づくり～



取り組みの方向性

- (1) 地域の暮らしを支える健康づくり・コミュニティづくりの推進
- ①医療介護の蓄積を活かした安心の確保と健康づくりの充実
 - ✓医療福祉産業集積を活かし、元気づちから介護が必要になっても、地域で暮らせる環境を確保。
 - ✓市内大学等における健康づくり等の研究、活動と連携、健康づくりに寄与する取り組みを推進。
 - ✓これらのサービスの担い手となる人材育成、持続可能なサービス提供に寄与。
 - ②運動や就労、文化的活動などの場や体制づくりによるコミュニティの形成
 - ✓総合運動公園や農業、地域での就労、医療機関等が提供する健康プログラム、活動への参加により健康環境を確保。
 - ✓活動への参加による地域のコミュニティづくりを図り、独居の方でも食事や趣味で交流できる場をつくる。
 - ✓移住から活動、住まい、生活の相談などのワンストップ対応体制を構築、プラチナ・コミュニティを実現。
- (3)その他の施策との連携
- ・子育て支援、高齢者の移動のための交通アクセスの確保などと連携した生活環境の確保。

(2) 豊かな自然環境、観光資源を活かした移住促進による地域の活性化

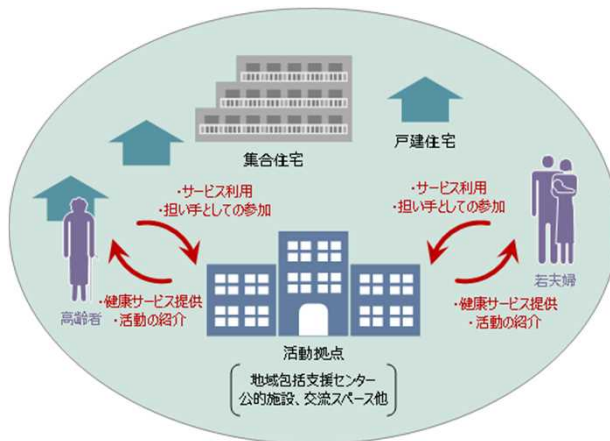
- ③海辺での良質な暮らしを目指す移住と交流の場の充実モデル
- ✓良質な日常を送れる海辺、まちなか再生を進め、東京圏等の移住者の呼び込み、別荘所有者等の定住等に取り組む。
 - ✓海の眺望、マリンスポーツや温泉等に魅力を感じる二地域居住者、リタイア前後に元気づちに都市部から移住する方、市内で利便性の高い地域への住み替えを希望する方に、既存ストックを活用した住まいや交流拠点を確保。
 - ✓大学等と連携した食や運動の健康づくり、コミュニティづくりを進め、気づかないうちに健康になれる生活を目指す。
 - ✓ヘルスツーリズム、食、観光団体や大学、地域の活動団体等と連携した交流活動、観光等の就労や地域づくりへの参加などの活躍の場・体制を充実。

- ④山の魅力を活かした移住の促進と活躍の場の充実モデル
- ✓緑に囲まれ、農作業、自給自足的な生活を志向する多世代が移住している。
 - ✓集落コミュニティを尊重、高齢者の生活支援と農業・観光・地域活動の担い手となる多世代の共生を目指す。
 - ✓共助の仕組みの維持向上、田舎暮らしを志向する方々が就農や6次産業化、地域活動や文化活動等への参加を通じた活躍を実現する拠点づくり、就農支援等を図る。

■ビレッジの考え方

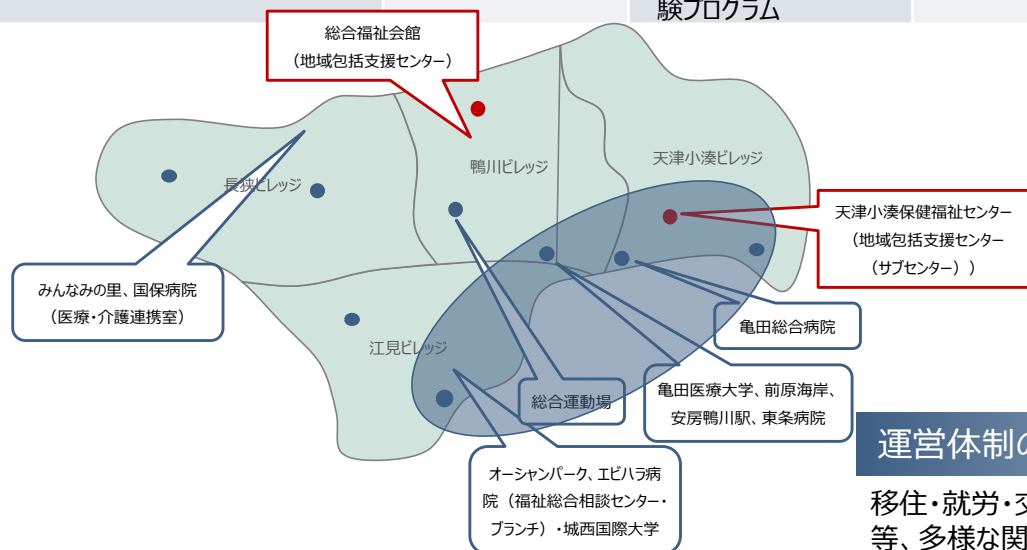
市内の日常生活圏域を念頭に、市内4つのエリアをプラチナ・コミュニティを形成するビレッジ（仮称）と呼び、それぞれに地域包括ケアの拠点と連動しながら、移住者や市民が利用可能な交流・相談拠点を設け、地域の交流促進、健康づくり・生きがいづくりに資する活動の実施、生活相談やボランティア活動の紹介、見守り等のサービス提供を図る。

これらとあわせて、新たな高齢者向けの住まいの整備や空き家の利活用を進め、市内全域においてそれぞれの地域の特性に応じたコミュニティ形成を進めていく。



■エリアの考え方

鴨川ビレッジ	天津小湊ビレッジ	長狭ビレッジ	江見ビレッジ
<ul style="list-style-type: none"> ▶海辺のまちづくりと連携した前原横濱海岸等における良質な日常をおくることのできる拠点の再生 ▶地域包括支援センターを核に、亀田医療大学、総合運動施設の多目的施設の整備とあわせた運動プログラムの提供、就農等とあわせた里山モデルの実現 	<ul style="list-style-type: none"> ▶亀田総合病院と連携した海辺の暮らしモデルの実現 ▶観光業と連携したウェルネスツーリズムの推進や高齢者の活躍の場の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ▶国保病院、みんなの里を中心とした交流の場と生活支援サービスの提供を通じた里山の拠点形成 ▶就農支援、帰農者セミナー、農家民泊、棚田オーナー等への農業体験プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ▶エビハラ病院、城西国際大学、道の駅鴨川オーシャンパーク等と連携した活躍の場の構築 ▶空き公共施設等を活用した高齢者向け住まい等の整備



運営体制の構築に向けて

移住・就労・交流・生活支援コーディネーター等、多様な関係者が情報共有を図る場を構築、事業の企画・運営、協議調整、フォローアップを行う。

移住促進に向けた取り組み

■観光と連動した移住支援

- ✓ ふるさと回帰支援センター等を通じた移住相談のワンストップ窓口の構築
- ✓ 農家民泊、空き家等を活用したお試し移住のツアー化
- ✓ 観光客やスポーツ等での来訪者に対する鴨川の魅力、移住PR
- ✓ イベントや広域観光の取り組みとあわせた東京等での移住の情報提供
- ✓ 高齢者向けの旅行商品と連動したウェルネスツーリズムツアーの充実 等

地域の暮らしの基盤を支える取り組み

(1)社会参加の場の構築

- ✓ ふるさとハローワーク、シルバー人材センター等と連携した就労・ボランティアの斡旋
- ✓ 農業、マルシェ、文化・スポーツ活動等への参加
- ✓ 地域の交流の場の充実とクラブ活動等の情報提供、運営支援

(2)健康づくり

- ✓ ウォーキング、健康体操等の運動プログラムの提供
- ✓ 総合運動施設の多目的施設での健康づくり活動、健康指導、交流の場づくり
- ✓ 健康マイレージ等のインセンティブの提供
- ✓ 地元の食材を活用した健康食やレシピの提供
- ✓ 看護師等としての就労に対する修学資金の援助等を含む担い手づくり
- ✓ 健康教育、講座の開催、食育 等

(3)新たな住まい等の確保

- ✓ 空き家バンク、民間事業者による仲介、相談体制の充実、官民連携した情報共有
- ✓ 民間事業者が高齢者向け住まいを整備する際の国の支援獲得や全市的なサービスプラットフォームの構築と活用調整
- ✓ 住宅取得・リフォーム等への助成、金融機関と連携したローンの提供等の支援
- ✓ 公共施設、交流拠点等の運営事業への民間事業者のノウハウ活用拡大
- ✓ 空き公共施設等を活用した民間事業者による拠点整備の公募の検討
- ✓ 墓地等の確保方策検討

(4)相談体制等

- ✓ 地域包括支援センター・福祉総合相談センター、在宅医療介護相談窓口
- ✓ ふるさと回帰支援センター 空き家バンク、農家民泊、セミナー
- ✓ ふるさとハローワーク、シルバー人材センター
- ✓ 交流センター（みんなの里、道の駅オーシャンパーク）、就労農支援
- ✓ 大学連携によるワークショップ
- ✓ 生涯学習人材ボランティア、健康マイレージ制度の構築
- ✓ 地域見守り体制の構築
- ✓ 地域密着型施設の整備、在宅医療・介護の相談窓口の設置、市民への周知
- ✓ 介護予防・日常生活支援総合事業等の推進

